

テーマ名 AI を用いた各種システム開発

担当者 代表 C系 藪木登、海外展開促進 中村ふみ子

受入可能人数 4名

実施予定場所 総合情報センター情報演習室B

実施内容

最近いろいろなところで、AI を用いたシステムが開発され、利用されている。本グループにおいては、いろいろな問題に対してAI を用いて解決することにチャレンジする。解決する課題に関しては、本授業開始後に相談の上決めていく。

昨年度は、「鍋料理の材料の販売数量を AI で予測するシステム」および「文字認識システム」を作成した。

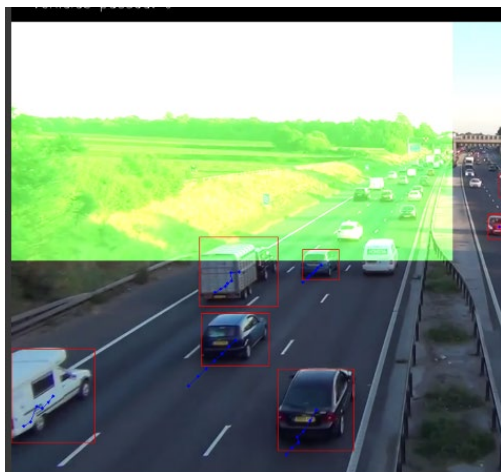
演習計画

- (1) AI がなぜ世の中で必要とされているか？ どういった使い道があるのか？ を理解
- (2) 実際に自分の手でAI を作って動かす (Deep Fake、車の交通量カウント)
- (3) AI ベンチャー企業の社長が投資家から資金を獲得するためのプレゼン方法を学ぶ
- (4) 解決する課題を相談の上決定し、課題解決の取り組みを開始する。
- (5) 作業分担してチームで仕事をする方法を学ぶ (プロジェクトマネジメント)

学べる事

- ・python 言語、AI モデル作成の技能、プレゼン能力、プロジェクトマネジメント

(2) 車の交通量カウント



(4) 例：鍋食材の売れ行きと気温の関係

